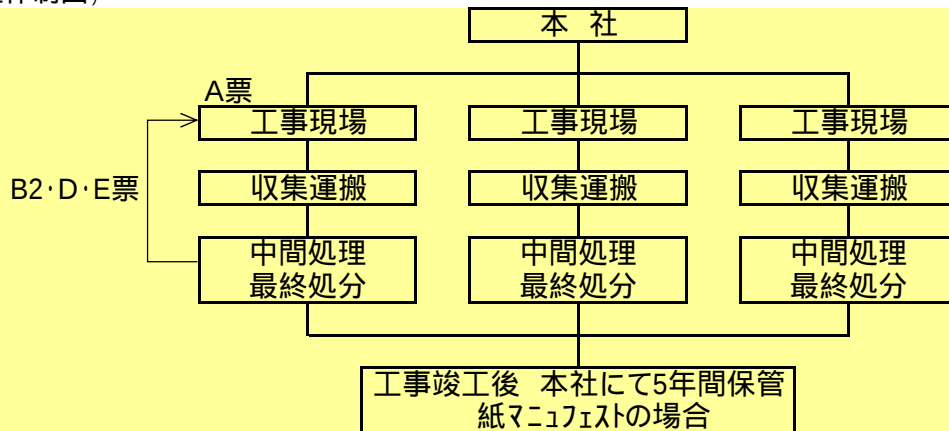


産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 月 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所 兵庫県姫路市北平野5丁目5-7	
氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 大浦組	
代表取締役 大谷 正人	
電話番号 079-281-1704	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 大浦組
事業場の所在地	兵庫県姫路市北平野5丁目5-7
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	一般土木建築工事業(0611)
事業の規模	工事完成出来形 (令和5年度) 5.36 億円
従業員数	21人
産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度(令和5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類		別紙 一覧表参照	
	排 出 量	3492.28	t	t
	(これまでに実施した取組) ・各工事現場において近隣状況、敷地条件等の環境が異なる為、各現場で自主的に基準を定め、基準に則り管理を行う。 ・分別を適正に行い処分する。			
計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類		別紙 一覧表参照	
	排 出 量	2000	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現場における産業廃棄物の抑制を考慮した施工に努める。 ・分別の細分化に努める。			

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各工事現場において近隣状況、敷地条件等の環境が異なる為、各現場で自主的に基準を定め、基準に則り管理を行う。
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場における産業廃棄物の抑制を考慮した施工に努める。 ・分別の細分化に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度(令和5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度(令和5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状	【前年度(令和5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行っ た産業廃棄物の量		t	
	(これまでに実施した取組)			
計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状	【前年度(令和5 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙一覧表参照		
	全処理委託量	3492.28	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	0	t	
	再生利用業者への 処理委託量	3492.28	t	
	認定熱回収業者へ の処理委託量		t	
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t	
	(これまでに実施した取組)			
	・適切処理業者と書面契約の締結			

(第5面)

計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	別紙一覧表参照		
	全処理委託量	2940	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2940	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	・現場における産業廃棄物の抑制を考慮した施工に努める。 ・分別の細分化に努める。			
事務処理欄				

備考

産業廃棄物処理計画書

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
実績：前年度(令和5 年度)実績量
目標：今年度(令和6 年度)目標量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の +)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の +)		産業廃棄物処理計画書		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
1501 コンクリート破片	327.67	300									327.67	300								
1502 アスファルト・コンクリート破片	1015.1	1000									1015.1	1000								
0200 汚泥	1994.63	1500									1994.63	1500								
0800 木くず	9.43	10									9.43	10								
1400 鋳さい	56.98	50									56.98	50								
0600 廃プラスチック類	10.5	10									10.5	10								
2000 建設混合廃棄物	67.74	60									67.74	60								
1500 がれき類	10.23	10									10.23	10								
合計	3492.28	2940	0	0	0	0	0	0	0	0	3492.28	2940	0	0	0	0	0	0	0	0